

# 骨軟部腫瘍グループ：骨巨細胞腫治療開発マップ

2024.7.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
初発 Campanacci分類 Grade I	病巣搔爬 <sup>1)</sup> +局所補助療法 <sup>2)</sup> 			
初発 Campanacci分類 Grade II				
初発 Campanacci分類 Grade III	関節温存可能な場合 病巣搔爬 <sup>1)</sup> +局所補助療法 <sup>2)</sup>  関節温存困難な場合 デノスマブ <sup>4)</sup> +外科手術 	JCOG1610 Phase III 病巣搔爬可能骨巨細胞腫 病巣搔爬 <sup>1)</sup> +局所補助療法 <sup>2)</sup> vs 術前デノスマブ <sup>4)</sup> +病巣搔爬 <sup>1)</sup> +局所補助療法 <sup>2)</sup> 2017.10～2020.12→2021.9  		
再発	関節温存困難な場合 en bloc切除 <sup>3)</sup>			
切除不能/ 遠隔転移	デノスマブ <sup>4)</sup> 肺転移切除			

1) 内部に腫瘍が残存しないように骨の開窓部分から搔き出す手術法

2) 病巣搔爬後再発予防目的で行う治療法（ハイスピードバーによる拡大病巣搔爬、骨セメントなど）

3) 一塊あるいは広範切除（腫瘍を健常組織で被包し一塊として切除）により病巣を完全摘出する手術法

4) ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤